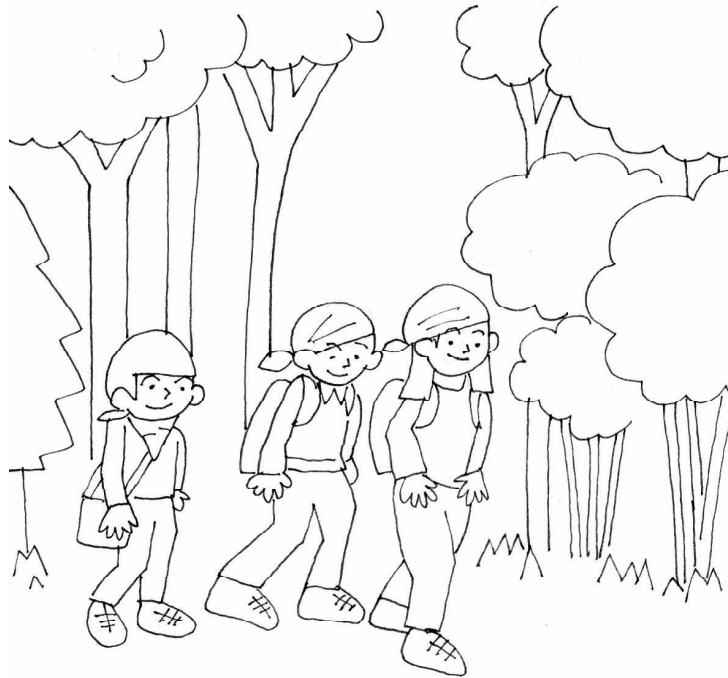


森で遊ぼう、森で学ぼう！体験活動ファイル

—あおもり森林環境教育ガイドブック—



青森県林政課

はじめに

本県は豊かな森林に恵まれています。都市化が進み、身近な森林や自然が少なくなり、以前は日常の遊びとしてあった自然とのふれあいは希薄になってしまいました。こうした状況は、子供たちの自然に対するステレオタイプの反応や感じ方を生み出しているのではないのでしょうか。

森林が極めて大切な生態系であることや、環境の保全に果たしている重要な役割については改めて認識されていますが、こうした森林の大切さを子供たちに伝えていく森林環境教育への取組みもまた、今日非常に重要であると考えています。

児童生徒の時期に、体験を通じて地元の優れた自然を知ることが、子供たちの郷土を誇りに思い、大事にする心の醸成にも重要な意味を持ち、将来、自然を尊び大切にする行動につながっていくと考えます。また、自然に触れ、森林生態系の仕組みを学ぶことは、命の大切さや生きる力の醸成にもつながるでしょう。

林政課では、森林・林業行政に携わる立場から、次代を担う子供たちに森林での体験や、学び理解する機会を提供したいと考え、たくさんの森林ボランティアの方々の御協力をいただきながら、平成14年度から小学校高学年を対象とした「水と緑の教室」を実施しています。この経験から、こうした教室や、ボランティアの方々が独自に行う体験活動の際、より充実した計画や実施に参考にできるようなガイドブックを作成することとしました。

作成に当たっては、県内を中心に研究や実践に造詣の深い先生方の御意見を頂き、子供も大人も楽しめるよう心がけながら取りまとめました。初めての試みであり不十分ではありますが、これで完成ではなく発展途上と考えて頂ければ幸いです。

内容は、解説の部分の冊子とプログラム部分のカードに分けて作っています。これを手にとられた皆様がオリジナルのプログラムカードを追加して、独自のガイドブックに進化させて頂くようお願いいたします。

このガイドブックが多くの人に活用され、森林に親しむ人が増えてくれれば幸いです。

平成18年3月

青森県林政課長 野宮正宣

も く じ

	このガイドブックの使い方・・・・・・・・・・	1
	体験活動をしてみよう！・・・・・・・・・・	3
	体験活動を安全に行うために・・・・・・・・	13
	体験活動プログラム・・・・・・・・・・	17
	体験活動実施例・・・・・・・・・・	20
	活動フィールドを探そう・・・・・・・・・・	22
	活動をサポートしてくれる指導者・団体・・・	28
	参考文献・ホームページ・・・・・・・・・・	30
	おわりに・・・・・・・・・・	34
	付録	
	・体験活動設計シート	
	・ふりかえりシート	
	・主催者評価シート	
	・緊急時対応表	
	・オリジナルプログラム作成用シート	
	・活動フィールド追加用シート	
	・指導者・団体追加用シート	
	・講師依頼時打合せチェックシート	

🎁 このガイドブックの使い方 🎁

このガイドブックには次のような特徴があります。

🎁 **すぐに森林体験活動ができます。**

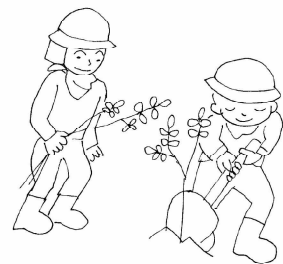
このガイドブックは、県内で主に森をフィールドとして体験活動を行うための道しるべをしてくれます。ガイドブックの手順にしたがって進めていくと、準備から実施まで簡単にできるように構成しています。

🎁 **どなたでも使えます。**

県内で森林体験活動を行っている方は、いろいろ手がけているプロの方もいれば、森（自然）が好きで何かを伝えたいと思っている方などさまざまです。今後、森林体験活動を盛んにしていくには、指導者の数を増やすことが必要です。そこで、このガイドブックは、少しでも森に関心があり、これから体験活動を実践しようと考えている人やこれまで手探りでやってきた方々に特に参考になるような内容としました。活動経験の豊富な方は、これからの活動の補足またはこれまでの活動をふりかえる資料として御使用ください。

🎁 **楽しく学べる体験活動プログラムを紹介しています。**

森でできる体験活動プログラムを掲載しています。いろいろな分野の環境教育に関心が高まる中で、自然の一部である森についての環境教育も大きな注目を集めています。実際、森は、私たちの生活と密接につながっていて、とても大切な役目をいくつも果たしています。そのことを、森の中で遊びながら気づき学べるプログラムです。



また、このガイドブックは、森のこと、林業のことを身近に感じてもらうための体験活動を意識して構成していますが、あまり学ぶことを意識せず、子ども達の生きる力などを育むための野外活動を行うこともできます。

🎁 **小学生から体験できます。**

体験活動プログラムは、小学校低学年から実施可能な内容を掲載しています。各プログラムには、だいたいの目安として活動可能な学年を示しています。

基本的に小学生を対象とした内容ですが、それ以上の年齢の方もアレンジを加えたりすれば行うことが可能です。プログラムを指導者（大人）がみて、おもしろいと思えば、他の大人の方でも十分楽しめるはずです。

また、プログラム以外の手順などの部分も小学生を対象に実施することを前提としています。大人の方を参加者として実施する場合は、自由にアレンジして実施してください。



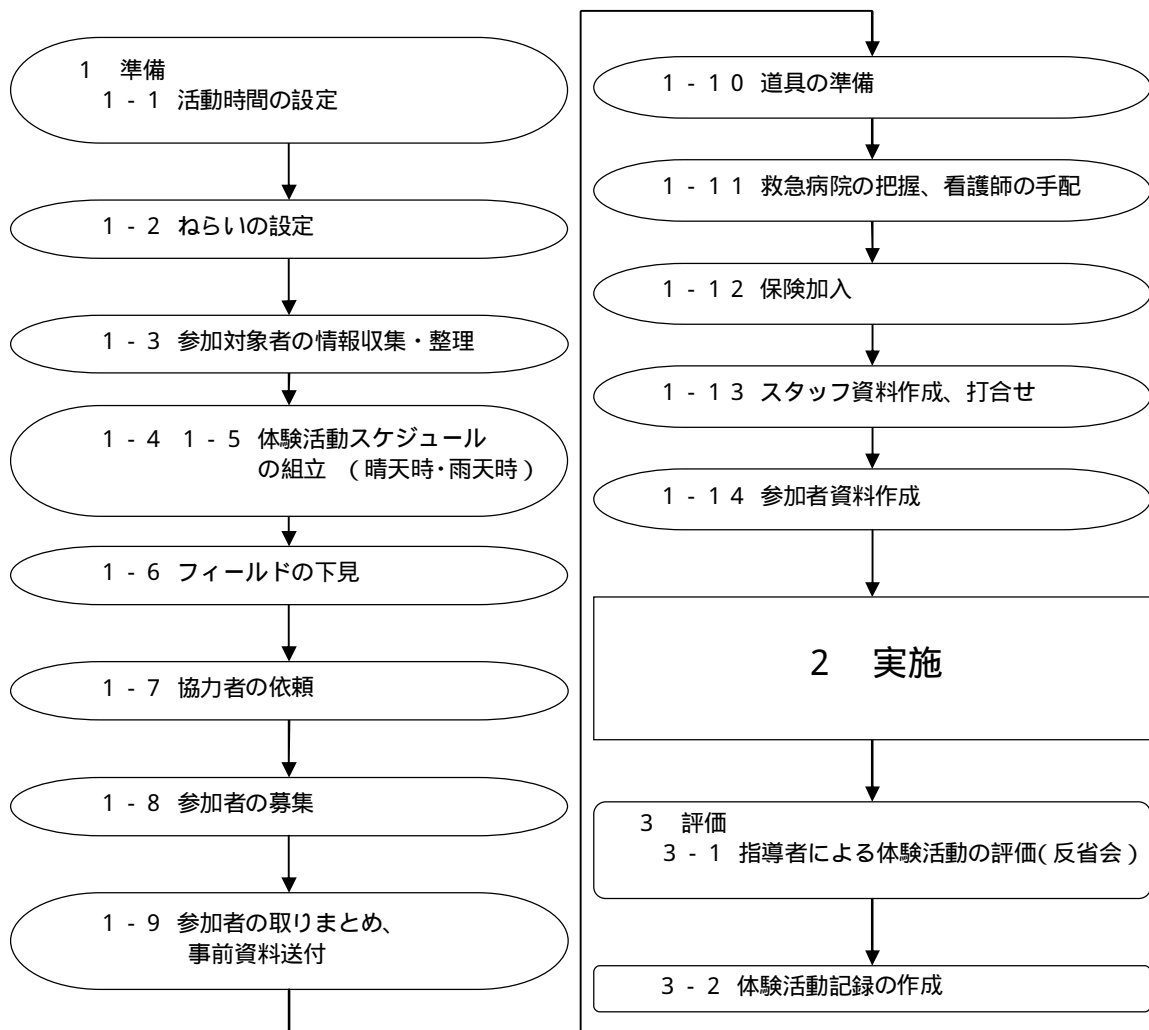
このガイドブックは活動マニュアルの種です。

活動を始めた最初の頃は、このガイドブックのとおりでかまいません。しかし、体験活動を何度かやっている中で、「こうしたほうが分かりやすい」、「今度はこうしよう」、「こんなプログラムはどうだろう」と思ったり、気づいたり、考えたりすることがあるはず（絶対あります！）。その気づいたことをこのガイドブックに足したり、必要の無い部分は削除したりと、どんどん改訂を加え自分だけの活動マニュアルを作りあげてください。そのため、書き込みや加除がしやすいように追加用の様式を載せたり、構成を工夫しています。たくさん活動を積み重ね、マニュアルの花を咲かせてください。

🌱 体験活動を試みよう! 🌱

- ・ここでは、体験活動の企画から実施にいたるまでの手順を説明します。
- ・体験活動は、『準備』→『実施』→『評価』の3ステップで行います。各ステップの中にはさらに細かい準備作業があり、それを準備する順番に項目にしてわかりやすく解説しました。
- ・この手順に従って、付録に掲載している『体験活動設計シート』を書き込みながら読み進めてください。このシートは活動案を書き込むための様式です。シートがびっしり埋まるころには、素敵な体験活動の企画ができていくことでしょう。
- ・基本的に、民間の活動団体が体験活動を企画・実施する場合を想定した手順になっていますが、学校で先生などが実施する場合にも対応できるよう必要な項目に^{学校}と表示しましたので参考にしてください。

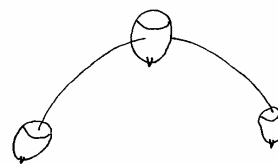
🌱 体験活動実施の流れ



1 準備

1 - 1 活動時間を設定します。

- ・体験活動の日にちと時間を設定します。



1 - 2 ねらいを設定します。

- ・活動を通して、参加者に森の何について伝えたいのか、何を学んで欲しいのかを決めます。この点は特に重要です。より具体的に設定することで、適切なプログラム運びができ、高い効果をあげることができます。
- ・ポイントは、『・・・という活動を通して、・・・を理解する』とか『・・・ができるようになることで、・・・に気づくようになる』といったような書き方にすることです。例えば、『木の葉を観察することで、樹木の種類や形態の多様性を理解する』といった具合です。また、五感を上手に使うって行う体験活動を意識することで、参加者が自発的に得るものが多くなります。
- ・同じ参加者による活動を複数回実施する場合は、環境教育のめざす「気づき」→「理解」→「行動」という目標にも沿うように心がけます。
- ・また、ねらいと一緒に、ねらいを端的にあらわした体験活動のテーマも決めます。

1 - 3 参加対象者の情報収集・整理

- ・年齢は？、参加人数は何人？、森林（野外）体験活動の経験はあるのか、どんなことをしてみたい、知りたいと思っているのか、などといった情報を整理（参加者を公募する場合は設定）します。参加者の情報を整理することは、体験活動を企画する上で大変重要です。

1 - 4 体験活動スケジュールを立ててみます。

- ・参加者にねらいをうまく伝えるための体験活動を組み立てます。活動中、参加者がどのように動き、考え、感じるかを想像しながら行います。
- ・スケジュールは、最初に、その体験活動をしたくなるようにさせる「導入」プログラム、次に、ねらいを達成するための「展開」プログラム、最後に体験をただで終わらないように一人一人が何を学んだのか振り返り、みんなで分かち合う「まとめ」プログラムの3段階の流れを意識して考えます。「導入」では、公募で参加者を集めたときなどの最初のよそよそしさを一気になごませるアイスブレイクプログラムも実施し、以後の活動がスムーズに進むようにします。
- ・各プログラムの所要時間や次のプログラムへの移動時間、休憩時間などについてもおおよその目安をつけておきます。
- ・プログラムごとのねらいも明確にしておきます。体験活動中に伝えるべきことなどを意識して進めるためです。
- ・スケジュールを組み立てる材料、ヒントとして、いくつかの体験活動プログラムの例をあとのページで紹介しています。そのままの手順で実施してもいいですし、ねらいにあわせてアレンジして使ってもかまいません。



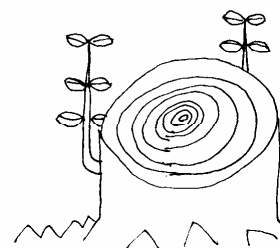
1 - 5 雨天時の体験活動スケジュールを立てます。

- ・森での活動は、天候によって計画を変更しなくてはならないことがしばしばあります。雨天時のスケジュールも立てておき、急な気象状況の変化にも対応できるようにしておきます。

1 - 6 フィールドの下見に行きます。

- ・体験活動を実施するフィールドの下見に行きます。
- ・ねらいを達成するための条件がそろっているかよく調べます。例えば、「樹木の種類や形態の多様性を知る」というねらいであれば、いろいろな樹木がある森を探すといった具合です。すばらしい体験活動にするために、フィールドは慎重に選びましょう。
- ・県内で体験活動が可能なフィールドを後のページで紹介しています。マップを参考にフィールドを探してください。使用したいと思うフィールドの管理者に連絡を取り、使用許可を得ましょう。森には必ず所有者がいます。無断使用はマナー違反ですので注意して下さい。
- ・雨天時に備え、利用できる屋内の施設も確認しておきましょう。
- ・その他、下見の際に注意する点についてあげておきます。

危険物の確認 / トイレの確認 / 携帯電話の通話可能範囲の確認 など



1 - 7 協力者を依頼します。

- ・自分だけでは実施したい活動ができない場合は、サポートしてくれる協力者を依頼しましょう。
- ・県内で活動をサポートしてくれる指導者・団体をあとのページで紹介していますので参考にしてください。指導料がかかる場合もありますので、忘れずに確認しましょう。

1 - 8 参加者を募集します。

- ・参加者を公募する場合は、チラシやパンフレットなどを作って配布します。人の目を引くように用紙の色を工夫したり、活動の内容が伝わるような挿絵を用いるなどして目立つようにします。
- ・案内は、分かりやすい表現にします。体験活動の趣旨やねらいを明確にわかりやすく伝えましょう。チラシ例を参考に作ってみましょう。
- ・案内を見た人の興味を引くような名称をつけるのも忘れずに。
- ・チラシは、次の内容を盛り込むようにします。
体験活動名 / 日時 / 活動目的・内容 / スケジュール / 参加申し込み方法・申込先 / 連絡先 / 定員 / 申し込み締切日 / 昼食持参などその他お知らせ事項
- ・参加者申込みは、必ず次の事項を記入してもらおうようにします。
名前 / ふりがな / 年齢 / 電話 / 保護者氏名 / 郵便番号 / 住所 / 学校名 / 学年 / 緊急時の連絡先 / その他特記事項（ハチに刺されたことがあるなど）
- ・申込みは聞き間違いなどを避けるため、電話ではなく、メールやFAX、郵便で受け付けます。
- ・また、インターネットや新聞など多くの人が目にする情報媒体の使用も考えます。
- ・募集開始後は、随時申込み状況を確認し、適切な対応をします。参加申込みが多い場合は、定員数や開催回数を検討したり、他の体験活動を紹介するなどの対応をします。せっかく応募してくれた方に、なにかしらの活動を提供することが大切です。
- ・少ない場合は、再募集を検討します。その際、一度目の募集でなぜ人があつまらなかったかを考えて、それを踏まえた再募集をします。

自然はみんなの学校だ！
水と緑の教室
参加者募集！

【対象】 小学校4～6年生【募集人員】 各コース定員120名（先着順）

津軽コース	県南コース
平成16年9月4日(土)	平成16年11月6日(土)
●水の教室 津軽タムの働きを学習(西目屋村) 水生生物観察(西目屋村)	●水の教室 さけの文化・福見亭と探検の体験(名川町)
●緑の教室 間伐・技術体験(相馬村) ネイチャーゲーム	●緑の教室 間伐・技術体験(南郷村) ネイチャーゲーム

参加費は無料！
応募締切8/6(金)

森と川と海のつながりを体験しよう！水と緑の教室

森と川と海のつながりやそれぞれの果たす役割について、次代を担う子どもたちに普及啓発を図る。

【バスのコース(予定)】

津軽コース (9/4(土))		
海津/バスA 青森市/青い森公園(7:00)	海津/バスB 五所川原市/栗田町庁舎(7:30)	海津/バスC 藤沢大町校舎(7:00)
津軽町校場	鶴田町校場	弘前市校所
高山市校所	津軽町校場	相馬町校場
体験場所	体験場所	体験場所
青森市帰着 11:30 予定	五所川原市帰着 11:00 予定	藤沢町帰着 11:30 予定

県南コース (11/6(土))		
海津/バスA 八戸市/橋台町庁舎(7:30)	海津/バスB 十和田市/県合同庁舎(7:30)	海津/バスC 野辺地町校場(7:00)
津軽町校場	五戸町校場	三沢市校所
名川町校場	南郷町校場	体験場所
体験場所	体験場所	体験場所
八戸市帰着 17:00 予定	十和田市帰着 17:00 予定	野辺地町帰着 17:30 予定

※バスのコース、発着時間、教室内容は変更になることもあります。

●参加費：無料です。(保険料含む)ただし、昼食とおやつは持参してください。
●申込み先：〒850-0100 青森県弘前市八戸、赤松町1-A、電子メール①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
●申込み先：(郵送の場合)〒030-8570 青森県弘前市1丁目1-1
青森県林産部「水と緑の教室」係
[FAXの場合] 上記紙で(FAX番号:017-734-8145) /
[電子メールの場合] 応募用紙にある必要事項を記入の上、
rinse@aga.prof.sacon.jp まで

※1人1コースまでとさせていただきます。定員にのり次第が切ります。
参加者は必ずお申し込み、申し込み後、学校や学年などについて連絡コースは6月中旬、県南コースは10月/11月までご連絡ください。申し込み後、申し込みのキャンセルはできません。

●お問い合わせ先：青森県農林水産部林産課(担当/成田主査・坂本技師) tel 017-734-9507
●主催：青森県 ●協賛：青森県教育委員会

ざりとり屋

名前： _____ 年齢： _____ 才： _____ 性別：男 女 電話番号： _____
保護者名： _____ 住所： _____ 市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____
学校名： _____ 小学校 学年： _____ 年 _____ 月 _____ 日
希望コース： _____ コース バスの乗車場所： _____

平成16年度「水と緑の教室」(県主催)の参加者募集チラシ(用紙の色：水色)
このチラシは、印刷業者に依頼して作ったものです。実際に手作りで作成する場合は、もっと簡易なものでも十分です。

1 - 9 参加者をとりとまとめ、事前資料を送付します。

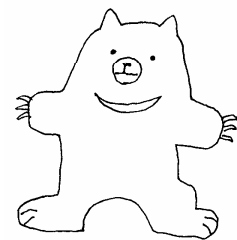
- 参加者が集まったら、事前資料を送付します。事前資料には次の点について明記します。
持ち物/服装/集合解散場所・時間/当日のスケジュール/緊急時連絡先/キャンセル時の対応/担当者/飲食物持参の有無 など

1 - 10 道具を準備します。

- 体験活動に必要な道具や資料をリストアップし、準備します。

1 - 11 救急搬送先の病院を把握します。看護師を依頼します。

- 万一の事故に備え、体験場所の近くの病院などを事前に調べておくことが必要です。搬送先病院は活動当日必ず連絡のつく連絡先を確認します。また、病院は2箇所以上把握しておきます。
- また、あらかじめ看護師を依頼し、同行してもらった方が良いでしょう。
- 緊急時の対応は、あらかじめ決めておきましょう。緊急時対応表の様式を付録に掲載していますので御利用ください。使い方は後の「体験活動を安全に行うために」のページで詳しく説明します。



1 - 12 保険に加入します。

- 体験活動参加者、指導者には、必ず保険をかけましょう。
- 保険に入る場合は、体験活動プログラム全てに適用される保険にきちんと入りましょう。その際は、保険会社に実施内容を示してよく説明し、見積もってもらいましょう。

1 - 13 スタッフ資料を作成し、打合せを行います。

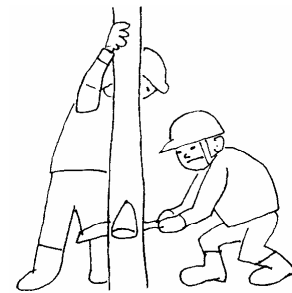
- 何人かの指導スタッフで対応する場合、役割分担や当日の動きなどを確認しておく必要があ

ります。その場合、次にあげる内容などを盛り込んだスタッフ資料を作成しましょう。スタッフ資料は、体験活動設計シートにプログラムカードを付け、さらに必要な項目を追加したものでかまいません。

- ・スタッフ資料には次の内容を盛り込むようにします。
スケジュール/スタッフ名簿(役割分担)・連絡先/参加者名簿・連絡先(緊急時連絡先)
/体験場所の地図/携行備品リスト/緊急時対応表/体験・指導方法/雨天時の対応
など

1 - 1 4 参加者用の資料を作成します。

- ・必要に応じて、参加者の資料を作成します。資料は、わかりやすい表現とし、必要最小限におさえます。
- ・配布資料には次の内容を盛り込むようにします。
日程/参加者名簿/活動中の安全注意事項/活動の参考資料/
体験メモ欄 など



2 実施

2 - 1 安全に体験活動を実施します。

- ・なによりも安全を心がけ実施します。

2 - 2 体験活動がしたくなるように働きかけます。

- ・参加者に身近な話題や共通する事柄に関連付けたりして、体験活動に興味を持ってもらえるように工夫します。
- ・また、活動中は気づいたことや考えたことなどをいつでもメモが出来るように、フィールドノート(メモ帳)を一人一冊持ってもらうのもよいでしょう。

2 - 3 ねらいが伝わるように導きます。

- ・活動で伝えたいことを上手に誘導して感じ取ってもらうようにします。設定したねらいどおりに伝わらないこともあります。あまりそれにこだわらず、押し付けたりしないようにします。ねらいに気をつけて活動を進めることは重要ですが、むしろ、参加者が体験から素直に感じたことを大切にするようにします。どんなことを感じたか声がけして聞きだすなどして上手に受け止めましょう。

2 - 4 体験活動全体のふりかえりを行います。

- ・どんな活動をしたか最後に全員で見つめなおします。ふりかえりの時間を設けて参加者にどんなことが印象に残ったか楽しかったことは何だったかなどを話し合います。ふりかえり用のシートを使って、参加者全員で個々が感じたことを分かち合います。ふりかえることで活動が自分の経験として身につきます。
- ・ふりかえりシートの様式を付録として掲載していますので、そちらを参考にして作成し、実施してみましょう。



3 評価

3 - 1 指導者自身が体験活動を評価します。 学校

- ・体験活動終了後は、指導者（スタッフ）が必ず体験活動を自分自身で評価しましょう。実施した活動のよかったところ、改善したほうがいいところなどを明確にすることで、次の活動にそのことが反映され、どんどんレベルアップできます。評価を行わないと次の活動でも同じようなところでつまづいたり、説明があいまいになったりします。楽しく効果のある活動を実践するために必ず行いましょう。付録に主催者評価シートの様式を掲載していますので、そちらを使って行いましょう。
- ・評価では、参加者のふりかえりシートも見返し、参加者に設定したねらいがどのくらい伝わったか、体験活動中どんなことを感じていたのかなどについての情報を整理します。

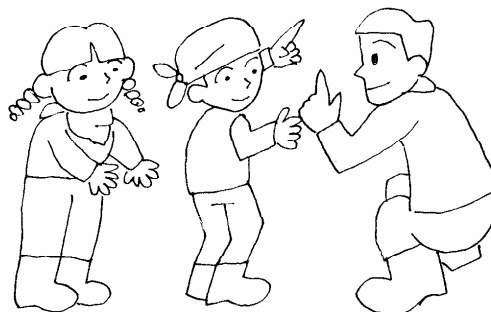
3 - 2 体験活動記録を作成します。 学校

- ・活動のつど、記録をまとめることで、オリジナルの体験活動事例集ができます。マニュアルとして使用できるほか、次の体験活動を企画するときのヒントとしても役に立ちます。また、指導を依頼されたときに「こんな活動はどうですか」といったような資料にも使用できます。
- ・活動の記録には、以下のことを盛り込み作成するようにしましょう。
活動名 / 日時 / 活動内容 / スケジュール / スタッフ（役割分担） / 振り返りの結果・その改善策 など



学校などから講師を依頼された場合は？

- ・学校などから講師を依頼された場合には、先生や子どもたちがどんなことが知りたいのか、どんな体験活動がしたいのかなどについて学校側と十分打合せを行う必要があります。
- ・円滑な打合せのために、講師依頼時打合せチェックシートを付録に掲載していますので御利用ください。シートは、学校側で設定すべき項目、指導者側で設定すべき項目、双方の話し合いで設定すべき項目を明確にしてあります。学校側の求める体験活動と依頼された指導者の考える体験活動の食い違いが起これにくくなるようにしています。





体験活動設計シート記入例

小学校4～6年生を対象に、青森市合子沢記念公園で森林教室を開催することとし、参加者を公募で募集する場合を想定して記入した。(体験活動実施例1を使った例)

[体験活動設計シート]

活動日(日にち、時間)

平成17年7月26日 13:00～16:00

テーマ

私たちの身の回りの植物

活動のねらい

人の五感を使って、森にさまざまな特徴をもつ植物が存在することを知ること、身の回りにたくさんの植物があふれていることを、五感を使って意識するようになる。

参加者について

項目	内容
年齢	小学校4～6年生
参加人数	30人
興味のある事柄	森のはたらき、私たちの生活とのつながり
体験活動の有無	ほとんどなし
その他の情報	昨年度開催した教室のリピーターがいる

体験活動スケジュール

	プログラム名	所要時間	ねらい・役割
導入	はじめに	10分	身のまわりにある植物で、覚えているものをあげてもらい、普段の生活で森の中の植物の存在をあまり意識していないことを気づかせる。
展開	においがするものなーんだ (プログラム - 11)	70分	においをかく感覚(臭覚)を使って森に生きる植物を調べる。
	森の芸術家 (プログラム - 10)	90分	形や色をみる感覚(視覚)を使って、たくさんの植物をあつめる。
まとめ	まとめ	10分	においをかいだ植物や集めた植物を例にとり、森に生きる植物の多さを説明し、身のまわりにたくさんの植物が存在し、それにかこまれてわたしたちが生きていることに気づかせる。

タイムスケジュール（晴天時）

プログラム名	スケジュール	所要時間
オリエンテーション	13:00～13:05	
はじめに	13:05～13:15	10分
移動	13:15～13:25	
においがするものな～んだ	13:25～14:35	70分
休憩	14:35～14:50	
森の芸術家	14:50～15:35	45分
移動	15:35～15:50	
森の芸術家（室内作業）	15:50～16:35	45分
まとめ・ふりかえり	16:35～16:55	20分

タイムスケジュール（雨天時）

プログラム名	スケジュール	所要時間
オリエンテーション	13:00～13:05	
はじめに	13:05～13:15	10分
移動	13:15～13:25	
においがするものな～んだ（室内短縮バージョン）	13:25～14:25	60分
休憩	14:25～14:45	
森の芸術家（室内短縮バージョン）	14:45～15:45	60分
まとめ・ふりかえり	15:45～16:10	25分

活動フィールド

プログラム名	フィールド
オリエンテーション	合子沢記念公園
はじめに	
においがするものな～んだ	
森の芸術家	合子沢記念公園・野鳥観察施設（室内作業）
まとめ・ふりかえり	野鳥観察施設

協力者への依頼

プログラム名	氏名(所属団体)	指導料
においがするものなーんだ	青森 守(青森県林政課)	なし
森の芸術家		

準備品

プログラム名	準備物品(数量)
森の芸術家	画用紙(30)、木工用ボンド(30)、テープ(30)、色鉛筆(30)

最寄りの医療機関及び看護師

医療機関名	電話番号	備考
病院 : 病院	017-***-****	
病院 : 病院	017-***-****	
看護師: 小林 花子	090-****-****	

保険加入

保険会社名(取扱店)	担当者名	電話番号	備考
レクリエーション参加者傷害保険 (保険会社)	林 太郎	017-***-****	

スタッフ役割分担・緊急時連絡先

プログラム名	役割	スタッフ名	電話番号	備考
全体	指導	森 葉子	090-****-****	
においがするものなーんだ	指導補助	青森 守	090-****-****	
森の芸術家	指導補助	青森 守	090-****-****	

🎁 体験活動を安全に行うために 🎁

森林体験活動は、野外での活動が多いという性格上、常に危険ととなり合わせになります。体験活動を安全に進めることは、なによりも大切です。一旦事故がおこってしまうと、せっかく楽しく進んでいた活動も台無しになります。指導者は、次にあげる点に十分注意して、楽しく行いましょう。

🍄 ゆとりをもった体験活動スケジュールを計画します。

- ・スケジュールは十分なゆとりをもって計画しましょう。時間におされて実施すると、事故が起こりやすくなるばかりか、伝えたいことが十分伝わりません。
- ・休憩時間は必ず設けましょう。疲れたら無理せず休憩するようにします。
- ・運営スタッフの役割分担を明確にしましょう。無駄のないプログラム運びができ、危険防止につながります。



🍄 活動フィールドを下見し、危険予知を徹底します。

- ・参加者、特に子どもに『危ないから』とって活動を制限するのは限界があります。危険な場所の把握や危険物の撤去などを事前にしておけば、当日はスムーズに活動を実施することができます。急な斜面、切り株、枝、石などに気をつけましょう。
- ・また、携帯電話がつながるかどうかを確認し、緊急時の連絡体制を整理します。
- ・スタッフの打合せがある場合は、危険な箇所についての情報を知らせ、危険を回避するようにします。

🍄 天候への対応をしっかり決めておきます。

- ・当日の天気に応じて、スケジュールを変更したり、荒天であれば、中止も考えましょう。無理に実施しても、体験活動の面白さが伝わりなくなります。
- ・直前の天候により、活動場所が土砂崩れを起こしやすくなっていたり、雪崩がおきやすくなっていたりすることがあります。天気情報をきちんと把握しておくことやフィールドの状態の確認（活動直前の下見など）も必要です。

🍄 緊急時の連絡体制を決めます。

- ・緊急時の連絡体制を決めておき、万が一事故が起こった場合には速やかな対応が取れるようにしておきます。緊急時対応表の様式を付録に掲載しています。また記入する際は、「緊急時連絡表（記載手引図）」を参考にしてください。
- ・緊急時の搬送先病院は活動当日必ず連絡のつくところを確認します。また、念のため2箇所程度把握しておきます。
- ・体験活動当日は、救急用具を入れた救急箱を持っていきます。
- ・応急処置の方法を勉強しておくことも必要です。



体験活動に対応した服装をします。

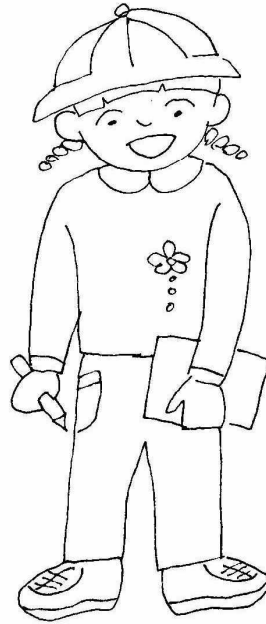
- ・参加者には、事前送付資料などで体験活動に対応できる服装を準備することを伝えます。
- ・森の中での活動は、基本的に長袖、長ズボンで肌を出さないようにします。
- ・日差しをふせぐための帽子や葉などで手を切らないよう軍手も必ず準備します。
- ・体験活動での基本的な服装を示しましたので参考にしてください。



体験活動での基本的な服装



- ・長袖、長ズボン、帽子、軍手、くるぶしが隠れる程度の歩きやすい靴（必要に応じて長靴）
- ・首にタオルやバンダナを巻くなどしてなるべく肌を出さないようにします。
- ・ハチは黒いものに寄ってくる習性があるので、黒っぽい服装はさけます。
- ・季節に応じて、防寒具や雨合羽の準備に気を付けます。



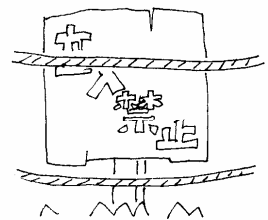
体験活動の前に、安全に活動を行うための注意事項を伝えます。

- ・指導者は、必ず体験活動を始める前に、参加者へ危険な場所や危険な行為などについて伝えましょう。
- ・いくら指導者が事故が起こらないように注意していても、参加者自身が危険なことを行うような状況では事故は防ぎようがありません。自分の身は自分で守ることを意識させるようにします。
- ・また、参加申込時に、親などに活動の趣旨や内容などをきちんと理解した上で参加してもらうようにし、事故の可能性についても伝えておきましょう。



フィールドマナーを守ります。

- ・森で体験活動は、多少ともフィールドに影響を与えてしまいます。美しい森はみんなのもので。ひとりひとりが大切に使い、自然にやさしい行動をとることが体験活動のマナーです。
- ・ごみはもって帰る、生き物をむやみに傷つけない、立ち入り禁止の場所には入らないなどを意識し、守ることを心がけます。
- ・参加者へ体験活動前にフィールドマナーについて伝えましょう。





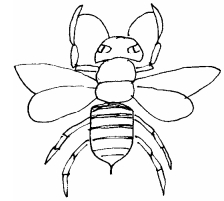
体験活動で使用する道具の使い方をきちんと教えます。

- ・ノコやカマなどといった刃物を使う体験活動では、参加者に渡す前に、使い方や注意する点を十分に伝えましょう。実際に使って見せながら説明しましょう。待っているときには、刃物は持たせないようにするなど配慮します。



危険な動植物に注意します。

- ・森には、危険な動物がたくさん住んでいます。私たちは、体験活動を行うため、それら動物の住まいにちょっとお邪魔するという気持ちを持つことも必要でしょう。ここでは、万が一に備え、それらの動物に襲われたときの対処法を記載しておきます。また、症状を自分で判断せず、病院に行くようにしましょう。



(ヘビ)

- ・危害をくわえない。ヘビはこちらがおとなしくしていれば、あまり襲ってきたりしません。

(ハチ)

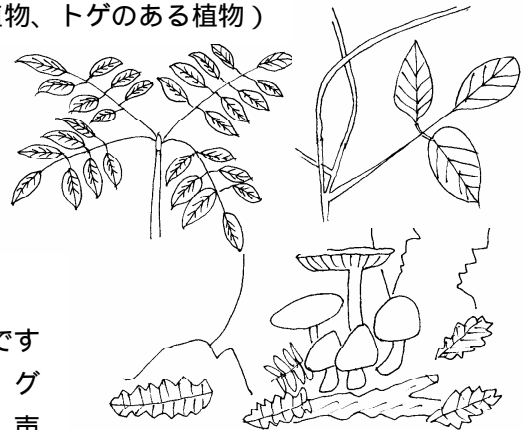
- ・ハチの巣を見たら近づかない。ハチが近づいてきたら静かに場所を移動しましょう。手で払ったりしてはいけません。
 - ・もし刺されたら、傷口をつまんで毒液をしぼり出し、患部を水で洗い、薬を塗ります。毒を吸い出す道具も市販されているので携帯するのもよいでしょう。
- 過去にハチにさされていると、刺されたとき過剰反応(アナフィラキシーショック)し、危険な場合もあります。参加者の被害経験を知っておきましょう。

(ケムシ類・ツツガムシなどの有害な虫、かぶれる植物、トゲのある植物)

- ・近づかないようにします。もし触れてしまったら、水で洗い流し薬をぬりましょう。

(毒のある植物・キノコ)

- ・知らない植物、きのこは食べてはいけません。



参加者の心のケアをします。

- ・参加者みんなが打ちとけあって活動が進めばよいですが、中には、1人ぼつんとしてしまう子もいます。グループ活動で学ぶことは多いものです。指導者は、声がけをしたり、何気なく手助けしたりして、みんなが楽しく活動できるようにしましょう。



ハチ刺されによるアナフィラキシーショックについて



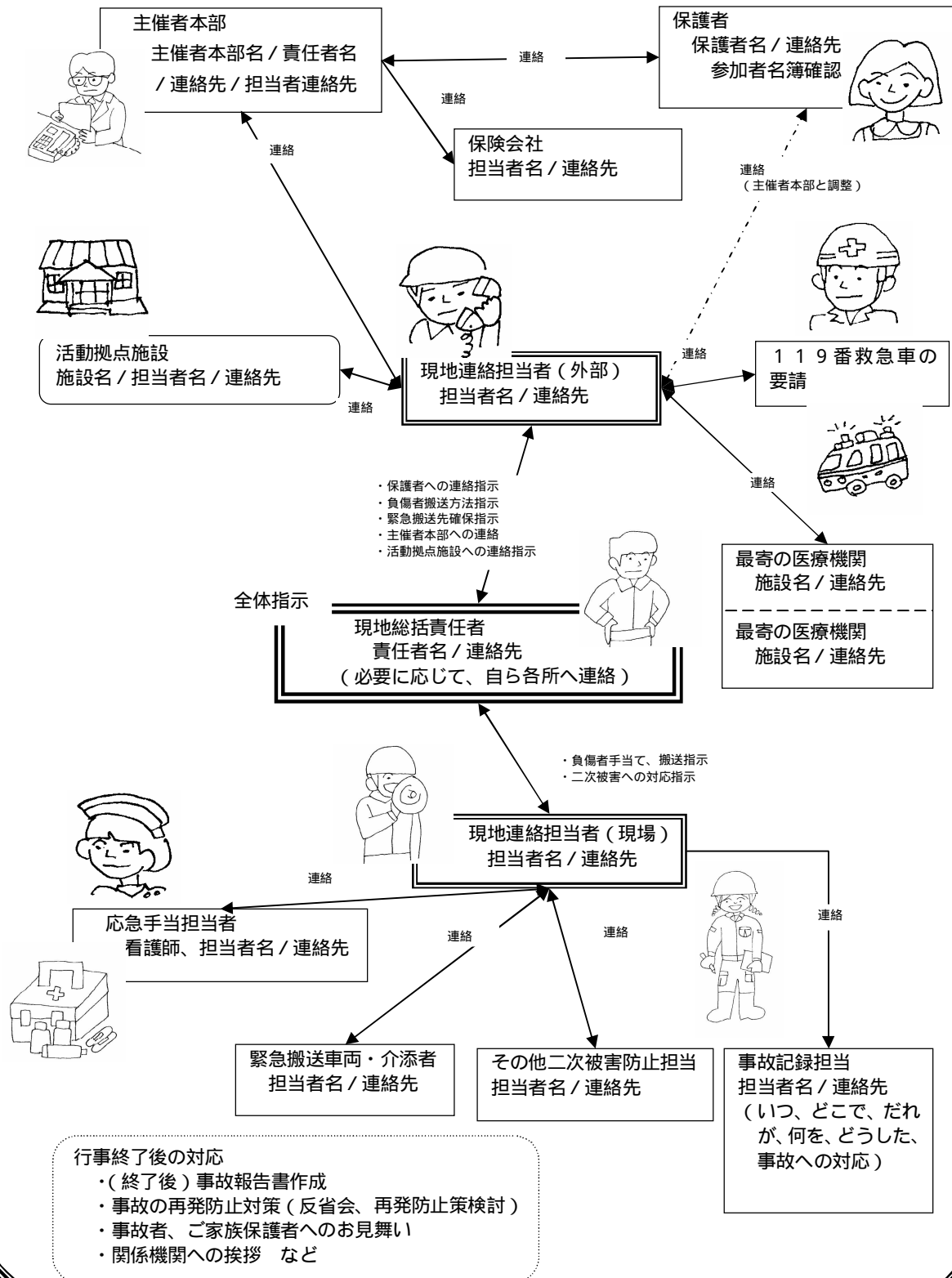
ハチ毒が原因でおこる急性アレルギー反応。ハチ毒の抗体を体内に持っている人が2回目以降刺されることによって、皮膚症状や呼吸困難、めまい、意識障害等の症状を起こすことがあり、血圧低下、けいれんなど生命にかかわる重篤なショック症状を引き起こす場合があります。



ここに記載した以外にも、体験活動を安全に行うための注意事項を詳しく紹介しているホームページや参考文献を後のページで紹介していますので、参考にして下さい。

体験活動名

教室

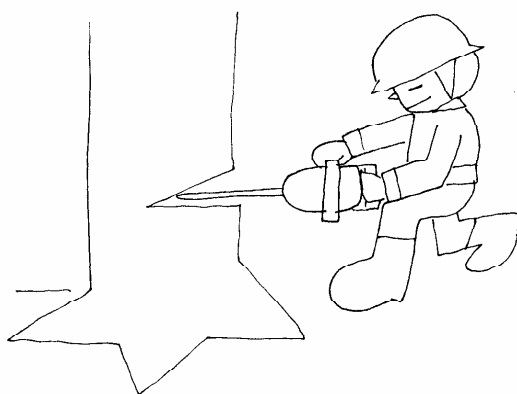
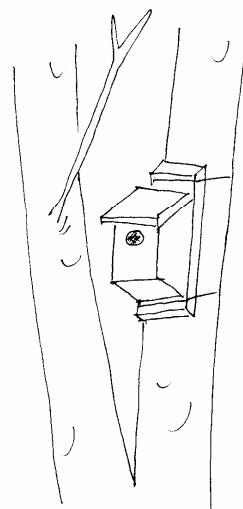


🎁 体験活動プログラム 🎁

- ・森の中で遊びながら、その大切さに気づき、学べる体験活動プログラムを約30例掲載しています。これまで県が実施してきた森林教室のプログラム例や参考文献で紹介されているもののほか、こんなプログラムもおもしろいのではと新たに作成したものです。
- ・プログラムは単独でも、いくつかの組み合わせでも実施できます。設定したねらいにあわせて行ってください。しかし、掲載したプログラムはあくまで体験活動を組み立てるヒント、材料です。指導者が伝えたいこと、学んで欲しいことをしっかりと伝えられる体験活動を自分で考え、企画することが大切です。活動回数が少ない頃は、このプログラム例の手順のまま実施してもよいですが、慣れてきたら指導しやすいようにアレンジして実施してください。
- ・プログラムは、小学校のひとクラス（30人程度）の子どもたちを担当の先生など指導者1人で1時間から半日程度で実施することを前提として考えました。なお、プログラムによっては、対象人数を少なくしたり、安全面などから複数の指導者を必要とするものもあります。
- ・プログラムには、体験活動を企画する際の目安になるように、何を題材にしたプログラムであるのかを示したキーワードをつけました。
- ・各プログラムを1枚のカードにまとめています。企画した体験活動にあわせて必要な部分だけ抜き出して使えるようにしました。スタッフ資料や当日の指導マニュアルにそのまま使うことができます。また、カードは野外に持ち歩くことを想定して耐水紙としています。多少の雨や汚れなどはふき取れば、何度でも使うことができます。
- ・自分で考案したプログラムを書き込むためのオリジナルプログラム作成用シートを添付していますので、そちらも活用してください。
- ・ほかにも指導書などでいろいろなプログラムが紹介されています。そちらも参考にして楽しい活動を行ってください。
- ・今後、林政課のホームページで、プログラムを随時紹介していく予定ですので、そちらもご覧になってください。

ホームページアドレス

<http://www.pref.aomori.jp/rinsei/>





体験活動プログラム一覧

カテゴリー	キーワード	プログラム名	番号
森にふれる	森	あおもりの青い森	- 1
	植物	色あわせ	- 2
		いくつかな？	- 3
		ミニミニ植物マップづくり	- 4
	樹木	迷子の木捜索隊	- 5
		木の子ども探し	- 6
		落とし物は何？	- 7
		年輪ってどうしてできるの？	- 8
		年輪はなんでも知っている	- 9
	葉	森の芸術家	-10
		においがするものなーんだ	-11
		はっぱのスケッチ	-12
	実	木の実のスケッチ	-13
		空とぶタネ	-14
		森の芸術家	再掲
	動物	イロイロな生き物	-15
		みんなつながってるんだ！	-16
		いくつかな？	再掲
	キノコ	キノコは森のお掃除屋さん	-17
土	森の土の仕組みを知ろう	-18	
雪	スノーハイキング	-19	
森と私たちのつながり	林業	林業ってどんな仕事？	-1
		間伐ってな～に	-2
		間伐をしよう	-3
		枝打ちしよう	-4
	木材	この木なんの木	-5
		木は暖かい	-6
		木は軽くて強い	-7
		コースターを作ろう	-8
		木の小物を作ろう	-9
	キノコ栽培	しいたけを育てよう（植菌）	-10
		しいたけを育てよう（収穫）	-11
アイスブレイク	アイスブレイク	じゃんけんいもむし	ア -1
		変化探し	ア -2
		人間ビンゴゲーム	ア -3


プログラムカード例

①-10	
カテゴリー	森にふれる
キーワード	葉、実
プログラム名	森の芸術家
ねらい	森の中にあるものを使って工作することで、森には、いろいろな植物がいるいるる形や色の実や葉をつけることを意識するようになる
実施時期	春から秋
実施場所	植物の種類が多い森、公園、学校（校庭）など
活動可能学年	小学校中学年から
必要な専門家・人数	植物の種類に詳しい人がいることが望ましい
所要時間	90分
実施上の注意事項	なし
指導者準備品	画用紙、木工用ボンド、ノープ、色鉛筆
参考文献	・森の中の自然体験プログラム集P29／社団法人国土緑化推進機構 ・森林の探求ワークブック1／豊かな森林づくりのためのリーダーネットワーク・21

○ 進め方


導入（15分）

①森の中にある植物やさまざまな形の木の葉、枝、木の実などをあけてもらう。
②森の中にあるものを使って作成する絵の絵本を見せながら、これから作るものを説明する。




体験（60分）

③森の中にあるものを集めてきてもらう。
④集めてきたものを画用紙に貼り付けるなどして、絵を作ってもらおう。



ふりかえり（15分）

⑤作った絵を見せながら、何種類のものが使われているかななどの発表会をする。



⑥知らなかった形や種類のものがどのおどろいふつかか考えてもらおう。森にある植物の多さを意識してもらおう。

○指導のポイント

- ・見本は自然物の特徴を上手に活かした絵になるように説明する。
- ・発表のとき、発表者は一言句に入っているものとその理由も言ってもらおう。
- ・時間があれば、とってきたものが、どんな種類のものだったか図鑑などで調べてもらう。
- ・生えている植物などが違う森や広葉し、できる絵の違いを比べるのもおもしろい。
- ・絵を作る作業は室内で行ってもらおう。

表 面

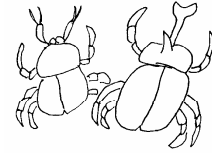
- ・カテゴリー：森の中でどんな活動をしたいのか2つのカテゴリーを設定し、プログラムを分類しました。
- ・キーワード：体験活動の主な題材を示しています。
- ・プログラム名：プログラムの名前です。
- ・ねらい：このプログラムを体験することでなげに気づき、理解することが出来るのかを示しています。
- ・実施時期：一年のどの時期に実施できるかを示しています。
- ・実施場所：どんな場所で実施することが適当かを示しています。
- ・活動可能学年：小学校の何年生頃から実施可能なプログラムが、身体的能力などを考慮し、示しています。
- ・必要な専門家・人数：プログラムを実施する際にどんな専門家が必要か示しています。また、体験活動に必要な指導者（補助指導者）の人数を示しています。
- ・所要時間：活動全体でどのぐらいの時間が必要か目安を示しています。
- ・実施上の注意事項：体験活動中に注意すべき安全管理面での事項を示しています。
- ・指導者準備品：活動に使用する道具を示しています。
- ・参考文献：このプログラムを作成する際に参考にした文献です。

裏 面

- ・進め方：プログラム実施方法を示しています。プログラムは導入→体験→ふりかえりの3ステップで行います。各ステップごとの所要時間を（ ）で示しています。
- ・指導のポイント：ねらいを上手く伝えるために活動中気をつけること、説明の際伝えなくてはならないことなどを示しています。また、発展的な体験活動の内容を掲載しています。

🌱 体験活動実施例 🌱

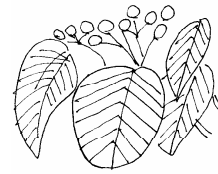
このガイドブックを活用してできる体験活動の実施例を2例ご紹介します。ねらいに合わせて数個のプログラムを組み合わせた例です。



1 森の植物の多様性を理解する実施例

テーマ	わたしたちの周りの植物
ねらい	人の五感を使って、森にさまざまな特徴をもつ植物が存在することを 知ること、身の回りにたくさんの植物があふれていることを意識する ようになる。

	プログラム名	役割
導入	はじめに (掲載プログラムを使わない いで実施)	身のまわりにある植物で、覚えているもの をあげてもらい、普段の生活で植物の存在を あまり意識していないことを気づかせる。
展開	においがするものなーん だ。 (プログラム - 11)	においをかぐ感覚(臭覚)を使って森に生 きる植物を調べる。
	森の芸術家 (プログラム - 10)	形や色をみる感覚(視覚)を使って、たく さんの植物をあつめ、絵を作る。
まとめ	まとめ	においをかいだ植物や集めた植物を例に とり、森に生きる植物の多さを説明し、身の まわりにたくさんの植物が存在し、それにか こまれてわたしたちが生きていることに気 づかせる。



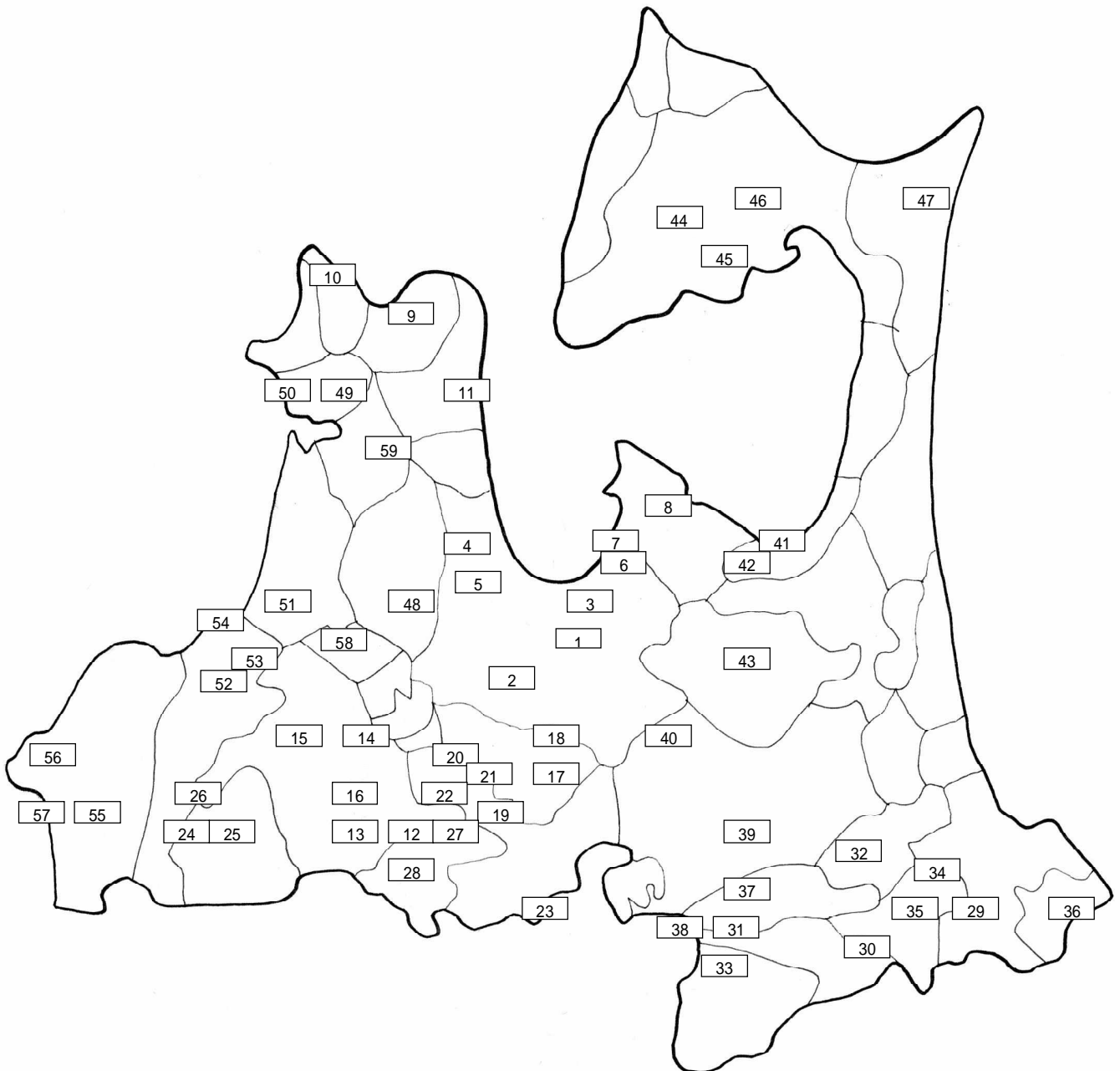
2 森に住む生き物のつながりについて理解する実施例

テーマ	森はたくさんの生き物のすみか
ねらい	森にはいろいろな生物が生息しており、それぞれの活動は重要な役割をもっていることを理解し、地球上すべてのものがそれぞれ影響しあいながら生きていることに気づく。

	プログラム名	役割
導入	みんなつながってるんだ！ (プログラム - 16)	生物どうしがお互いに影響を受けあって、生きていることを知る。
展開	イロイロな生き物 (プログラム - 15)	動植物が体や花や実の色に工夫を凝らし、食べられないようにしたり、わざと食べられやすくしたりしていることを学ぶ。
	キノコは森のお掃除屋さん (プログラム - 17)	キノコが土を作り出す働きを持つことを知る。
まとめ	まとめ	上記3つのプログラムで学んだ森に住む生物の役割やその他の動物の役割についてもふれ、思いつくつながりのある動植物(にかぎらなくてもいい)を出してもらい、みんなで話し合う。

🌱 活動フィールドを探そう 🌱

森林体験活動に活用できるフィールドを紹介します。体験活動の企画の手がかりになるように各フィールドの施設や交通アクセスなどの特徴も示しています。たくさん活動して自分の得意なフィールドを見つけましょう。



地区	名称	所在地	管理者	連絡先	施設 設備	交通 アクセス	周辺の 森林状況	番号
東 青	合子沢記念公園	青森市合子沢字山崎 226-2	青森市農地林務課	0172-62-1146	駐車場、水道、トイレ	J R 青森駅から車で45分	スギ、広葉樹	1
	菅野高原ブナ施業指標林	青森市横内字前岳山 国有林	東北森林管理局青森森林管理署	017-781-0131		J R 青森駅から車で40分	ブナ二次林	2
	月見野森林公園	青森市駒込字深沢 1-406	月見野森林公園管理事務所	017-743-5256	駐車場、水道、トイレ	J R 青森駅から車で30分	スギ、広葉樹	3
	眺望山自然休養林	青森市内真部字内真部山 国有林	東北森林管理局青森森林管理署	017-781-0131	駐車場、炊事場、トイレ、あずまや	J R 青森駅から車で35分	ヒバ、スギ、カラマツ、ヒノキ	4
	県民の森梵珠山	青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢 1-1	青森県立自然ふれあいセンター	0172-62-4527	駐車場、水道、トイレ	J R 青森駅から車で40分	広葉樹	5
	浅虫温泉森林公園	青森市浅虫字馬場山 1-7	浅虫温泉森林公園管理事務所	017-752-2628	駐車場、水道、トイレ	J R 浅虫駅から徒歩15分	広葉樹	6
	馬場山アカマツ巨樹	青森市浅虫字馬場山 国有林	東北森林管理局青森森林管理署	017-781-0131	駐車場、トイレ、森林公園に隣接	J R 浅虫駅から車で10分	アカマツ	7
	青少年の森	平内町小湊字新道 46-56	青森県林政課林産振興・普及グループ	017-734-9517	駐車場	J R 小湊駅から徒歩30分	スギ、広葉樹	8
	眺海の森林	今別町浜名字今別山 国有林	今別町体験交流センター	0174-35-2091	駐車場、水道、トイレ	J R 今別駅から徒歩5分	スギ、広葉樹	9
	増川ヒバ施業実験林	外ヶ浜町字三厩増川山 国有林	東北森林管理局青森森林管理署	017-781-0131	駐車場、あずまや	J R 三厩駅から車で20分	ヒバ	10
観欄山公園	外ヶ浜町字蟹田小国東小国山 1-3	外ヶ浜町産業観光課	0174-31-1226	駐車場、水道、トイレ	J R 蟹田駅から徒歩15分	スギ、広葉樹	11	
中 南	弘前市市民の森	弘前市一野渡字山下 108-1	弘前市りんご農産課	0172-35-1111	駐車場、水道、トイレ	J R 弘前駅から車で30分	スギ、広葉樹、ヤマツツジの自生地	12
	弘前市こどもの森	弘前市坂元字山元 4	こどもの森ビクターセンター	0172-88-3923	駐車場、キャンプ場、ビクターセンター、トイレ	J R 弘前駅から車で20分	スギ、広葉樹	13

地区	名称	所在地	管理者	連絡先	施設設備	交通アクセス	周辺の森林状況	番号
中南	高長根レクリエーションの森	弘前市高杉字神原282-72	高長根レクリエーションの森ビジターセンター	0172-97-2627	駐車場、キャンプ場、ビジターセンター、トイレ	J R 弘前駅から車で30分	スギ、広葉樹	14
	巨木の森(ブナ施業指標林)	岩木山五合目(岩木スカイライン沿線)	東北森林管理局津軽森林管理署	0172-27-2800	駐車場、演芸舞台	弘前市から車で60分	ブナ二次林	15
	星と森のロマントピア・そうま	弘前市水木在家字桜井113-2	(社)星と森のロマントピア・そうま	0172-84-2255	森林科学館、駐車場	J R 弘前駅からバスで40分	スギ	16
	市民の森中野もみじ山	黒石市南中野字不動館26-1	黒石市商工観光課	0172-52-2111	駐車場、水道、トイレ	黒石 I C から車で15分	広葉樹	17
	ふるさと自然のみち	黒石市南中野字不動館 他	黒石市黒森山ウォーキングセンター、黒石市企画課	0172-54-2082	遊歩道、駐車場、トイレ	黒石 I C から車で25分	針葉樹、広葉樹	18
	こけしの森	平川市葛川毛無森国有林	東北森林管理局津軽森林管理署	0172-27-2800	駐車場、歩道	黒石市から車で40分	広葉樹	19
	平川市自然の森	平川市金屋上早稲田165-3	平川市教育委員会生涯学習課	0172-57-3111	駐車場、水道、トイレ	黒石 I C から車で10分	スギ、広葉樹	20
	白岩森林公園	平川市尾崎字黒倉沢1-1	平川市管財課	0172-44-1111	遊歩道、駐車場	黒石 I C から車で10分	アカマツ、広葉樹	21
	志賀坊森林公園	平川市広船広沢	平川市管財課	0172-44-1111	遊歩道、駐車場	黒石 I C から車で10分	スギ、広葉樹	22
	たけのこの里	平川市碓ヶ関東碓ヶ関山1-128	たけのこの里交流センター	0172-45-3131	交流センター、駐車場	J R 碓ヶ関駅から車で30分	スギ、広葉樹	23
	アクアグリーンビレッジANMON	西目屋村川原平字大川添417	(財)ブナの里白神公社	0172-85-3021	管理棟、駐車場	J R 弘前駅からバスで55分	ブナ	24
	白神山地・暗門の滝自然観察教育林	西目屋村砂子瀬字鬼川辺国有林(暗門の滝入り口)	東北森林管理局津軽森林管理署	0172-27-2800	駐車場、トイレ	弘前市から車で60分	ブナを主とした広葉樹	25
	白神山地「ぶな巨木ふれあいの径」	西目屋村津軽峠付近	東北森林管理局津軽森林管理署	0172-27-2800	駐車場、トイレ	弘前市から車で100分	ブナを主とした広葉樹	26
あじらの森キャンプ場	大鱈町大鱈字范頭28-74	大鱈町建設課	0172-48-2111	キャンプ場	弘前大鱈 I C から車で45分	スギ	27	

地区	名称	所在地	管理者	連絡先	施設 設備	交通 アクセス	周辺の 森林状況	番号
中 南	植物群落保護林(旧大鱒学術参考林)	大鱒町島田字東虹貝山国有林	東北森林管理局津軽森林管理署	0172-27-2800	歩道	J R 大鱒駅から車で30分	天然スギ、ヒバ混交林	28
三 戸	八戸市民の森不習岳	八戸市南郷区島守字外田山	八戸市農業振興課(H18.4からは指定管理者による管理)	0178-43-9052 0178-83-2146 農業振興課管理棟	駐車場、トイレ、水道、キャンプ場、炊事場	八戸市役所から車で40分	スギ、アカマツ、広葉樹	29
	金洗沢公園	三戸町梅内字雷平	三戸町総務課	0179-20-4111	駐車場、遊歩道、水道、トイレ	三戸町役場から徒歩15分	スギ	30
	貝守深山町有林	三戸町貝守字貝守深山	三戸町ふるさと農村課	0179-20-4111	遊歩道	三戸町役場から車で30分	広葉樹	31
	牧内自然公園	五戸町倉石又重字中崎	五戸町農林課	0178-62-2111	駐車場、遊歩道、トイレ、水道	五戸町役場倉石支所から車で10分	スギ、アカマツ、広葉樹	32
	大黒森生活環境保全林	田子町田子字川代ノ上ミ	田子町産業課	0179-32-3111	駐車場、遊歩道、トイレ、水道、キャンプ場、炊事場、宿泊施設	田子町役場から車で30分	スギ、アカマツ、カラマツ、広葉樹	33
	田中 裕氏山林	南部町福田字堀切	田中 裕	0178-84-2520		南部町役場(本庁舎)から車で8分	スギ、アカマツ、広葉樹	34
	チェリリン村	南部町上名久井字大洪民山	南部町商工観光課	0178-76-3230	駐車場、トイレ、水道、キャンプ場、炊事場、宿泊施設、オートキャンプ場、アスレチック施設、テニスコート	青い森鉄道剣吉駅から車で15分	スギ、アカマツ、広葉樹	35
階上岳地区生活環境保全林	階上町鳥屋部字行人	階上町産業建設課	0178-88-2111	駐車場、遊歩道、トイレ、水道、炊事場、宿泊施設、オートキャンプ場、登山道	階上町役場から車で20分	スギ、アカマツ、広葉樹	36	

地区	名称	所在地	管理者	連絡先	施設 設備	交通 アクセス	周辺の 森林状況	番号
三戸	間木ノ平グリーンパーク	新郷村戸来字雨池11-2	森林:新郷村財産区 施設:ふるさと活性化公社	0178-88-2111 78-2511(公社)	駐車場、遊歩道、トイレ、水道、炊事場、オートキャンプ場、宿泊施設	J R 八戸駅から車で60分	スギ、アカマツ、広葉樹	37
	迷ヶ平自然休養林	新郷村戸来字戸来岳国有林	東北森林管理局三八上北森林管理署	0176-23-3551	バンガロー、ケビン、野営場、トイレ	J R 三戸駅から車で90分	広葉樹	38
上北	月日山森林エリア	十和田市米田字月日山	十和田市畜産林政課	0176-72-2311		十和田市役所から車で30分	スギ	39
	鳶沼自然観察教育林	十和田市奥瀬字鳶山国有林	東北森林管理局三八上北森林管理署	0176-23-3551	遊歩道、あずまや、トイレ	十和田市から車で40分	ブナ等広葉樹	40
	柴崎地区健康レクリエーション施設	野辺地町馬門字柴崎10-5	野辺地町産業観光振興課	0175-64-2111	駐車場、水道、トイレ、キャンプ場	J R 野辺地駅から車で15分	スギ、アカマツ	41
	烏帽子岳自然観察教育林	野辺地町馬門字地続山国有林	東北森林管理局三八上北森林管理署	0176-23-3551	野営場、休憩場、トイレ	J R 野辺地駅から車で40分	ヒバ、ブナ等広葉樹	42
	東八甲田家族旅行村	七戸町字左組	七戸町商工観光課	0176-62-9703	駐車場、水道、トイレ、キャンプ場	七戸町役場七戸庁舎から車で15分	広葉樹、アカマツ	43
下北	川内川溪谷	むつ市川内町曾古部山国有林	むつ市川内庁舎産業振興課	0175-42-2111	遊歩道、駐車場	J R 大湊駅から車で40分	ヒバ、ブナ	44
	せせらぎの森自然観察教育林	むつ市川内町高野山国有林	むつ市川内庁舎産業振興課	0175-42-2111	駐車場、水道、トイレ	J R 下北駅から車で60分	スギ、広葉樹	45
	恐山・薬研自然観察教育林	むつ市大畑町字葉色山国有林	むつ市大畑町庁舎産業振興課	0175-34-2111	駐車場、水道、トイレ、野営場	J R 下北駅から車で40分	ヒバ、ブナ等広葉樹	46
	猿ヶ森ヒバ埋没林	東通村猿ヶ森字猿ヶ森国有林	東北森林管理局下北森林管理署	0175-22-1131	駐車場、水道、トイレ	J R 下北駅から車で30分	クロマツ	47
西北	狼野長根公園	五所川原市持子沢字隠川	五所川原市農政課	0173-35-2111 (内358)	駐車場、トイレ、遊具	五所川原市内から車で20分	マツ	48
	モ一林公園	五所川原市相内実取	五所川原市農政課	0173-35-2111 (内358)	ひばチップ歩道、ひば材木橋、自然石水路	J R 五所川原駅から車で45分		49

地区	名称	所在地	管理者	連絡先	施設 設備	交通 アクセス	周辺の 森林状況	番号
西北	中の島ブリッジパーク	五所川原市十三土佐1-298	五所川原市地域活性化センター	0173-62-2775	駐車場、トイレ	J R 五所川原駅からバスで70分(中の島公園入口下車)		50
	つがる地球村森林公園	つがる市森田町床舞藤山296	つがる地球村株式会社	0173-26-2855	駐車場、水道、トイレ	J R 陸奥森田駅から車で5分	広葉樹	51
	ミニ白神	鱒ヶ沢町深谷町字矢倉山1-26	鱒ヶ沢町商工観光課	0173-72-2111 (内153)	駐車場、トイレ、休憩所	J R 鱒ヶ沢駅から車で25分	広葉樹	52
	あじがさわ遊々の森	鱒ヶ沢町西岩木山国有林	鱒ヶ沢町企画課	0173-72-2111 (内224)	-	J R 鱒ヶ沢駅から車で20分。	スギ、広葉樹	53
	矢倉山スギ遺伝資源保護林(巨木を育む森)	鱒ヶ沢町小森町字矢倉山国有林	東北森林管理局津軽森林管理署	0172-27-2800	歩道	J R 鱒ヶ沢駅から車で30分	北限の天然スギ	54
	白神山地	青森県南西部から秋田県北西部	東北森林管理局津軽森林管理署	0172-27-2800	避難小屋、トイレ	J R 鱒ヶ沢駅から車で160分	ブナ原生林	55
	サンタランド白神	深浦町松神字下浜松14	サンタランド白神	0173-77-3311	宿泊施設、駐車場、水道、トイレ	J R 十二湖駅から徒歩15分	スギ、針葉樹、広葉樹	56
	津軽十二湖自然休養林	深浦町松神十二湖周辺	東北森林管理局津軽森林管理署	0172-27-2800	駐車場、トイレ	J R 十二湖駅から車で10分	ブナ	57
	富士見湖パーク	鶴田町廻堰字大沢81-150	鶴田町商工観光課	0173-22-2111	駐車場、水道、トイレ、遊具	J R 陸奥鶴田駅から車で15分	マツ、スギ	58
津軽中里自然観察教育林	中泊町宮野沢字袴腰山国有林	東北森林管理局津軽森林管理署金木支署	050-3160-5875	あずまや、歩道	津軽鉄道「津軽中里駅」から車で30分	ヒバ広葉樹混交林、スギ、広葉樹	59	

🎁 活動をサポートしてくれる指導者・団体 🎁

県内で、森林体験活動を行っている指導者や団体を紹介します。実施したい体験活動を一人でやるのが不安なときや専門的な知識がいる場合などに、サポートしてくれる指導者・団体です。困ったことがあれば御連絡ください。また、専門の指導者の応援が入ると、活動に広がりがあります。積極的に依頼しましょう。

地区名	団体名	連絡先		活動内容	指導料
		電話	住所		
東青	森の案内人 青い森の会	017-782-4193	青森市西滝 3-7-2 (事務局:木村 晟)	森林観察指導	
	森林ボランティア青森	017-723-4144	青森市千刈 4-14-3 (事務局:佐藤 前)	森林整備	
	青森県緑サポーターの会	017-722-6787	青森市本町 4-9-45 (事務局:中谷大佳宏)	樹木医の活動の補助・支援	
	青森森林インストラクター会	017-781-0210	青森市富田 5-25-23 (事務局:千葉多兵衛)	森林観察指導、森林教育、イベント等での講師	講師1人につき 10,000円(5時間、 10名程度)
	NPO法人 青森県樹木医会	017-737-5860	青森市浅虫字坂本 9-33 (事務局:斉藤嘉次雄)	樹木保全活動(古木、衰弱木の診断・治療等)	
	ピクツリー青森	017-742-0791	青森市小柳 3-2-36 (事務局:斉藤嘉次雄)	樹木保全活動(古木、衰弱木の診断・治療等)	
	青森県林政課	017-734-9507	青森市長島 1-1-4	森林観察指導、森林林業体験活動での指導	
	青森県東地方農林水産事務所林業県産材振興課 18年4月より、林業振興課	017-734-9962	青森市新町 2-4-30 県庁舎北棟 4階	森林観察指導、森林林業体験活動での指導	
中南	森の案内人 津軽の会	0172-33-8733	弘前市下白銀町 1-1 弘前市公園緑地協会 (事務局:小山内弘道)	森林観察指導、森林林業体験活動での指導	
	青い森林づくりボランティアの会	0172-89-1850	弘前市小沢字大開 33-22 (事務局:西野久志)	森林作業、山菜採り、きのこ採り	
	こけしの森林づくり実行委員会	0172-52-2111	黒石市市ノ町 11-1 (事務局:黒石市農林課)	こけしの原木となる木の植林と保育活動	
	大川原山菜加工組合	0172-54-2020	黒石市大川原字苅森 56-1	林産加工・販売、炭焼き体験・販売	
	白神マタギ舎	0172-85-2415	西目屋村田代字神田 104-36	エコツアーガイド	要確認
	西目屋村観光ガイド会	0172-85-3021	中津軽郡西目屋村川原平字大川添 417	白神山地の案内	20名まで10,000円~
	NPO法人 岩木山自然学校	0172-83-2670	弘前市常盤野字黒森 12-5	子どもの体験教育及び自然体験事業等	指導者1人につき 3,000円~

地区名	団体名	連絡先		活動内容	指導料
		電話	住所		
中南	青森県中南地方農林水産事務所林業県産材振興課 18年4月より、 中南地域県民局地域農林水産部林業振興課	0172-33-3857	弘前市大字蔵主町4	森林観察指導、森林林業体験活動での指導	
三戸	田中 裕	0178-84-2520	南部町福田字間ノ原5-1	森林環境教育と所有林内での森林施業体験を実施。小学生から一般社会人まで対応可能。	
	青森県三戸地方農林水産事務所林業県産材振興課 18年4月より、 三戸地域県民局地域農林水産部林業振興課	0178-23-3595	八戸市尻内町字鴨田7 県合同庁舎2階	森林環境教育、各種森林施業体験、木工教室開催	
上北	森の案内人 県南の会	0176-22-6815	十和田市東五番町8-8 (会長大柳泰光)	森林観察指導、森林・林業体験活動での指導	
	青森県上北地方農林水産事務所林業県産材振興課 18年4月より、林業振興課	0176-24-3379	十和田市西十二番町20-12	森林観察指導、森林林業体験活動での指導	
下北	森の案内人 下北の会	0175-24-0375 会長：四ツ谷栄蔵 0175-24-4243 事務局：鈴木邦彦	むつ市文京町30-1	森林観察指導(おぐり遊歩道のみ)	
	NPO法人 森林環境サポート大畑	0175-34-2528 会長：堺 孝悦 0175-34-4873 事務局：濱田栄子	むつ市大畑町庚申堂69-3	森林環境保全活動、森林林業体験活動、林業就業者育成支援活動、企画、コーディネート	講習内容によっては、資料代等が生じることがある。
	青森県下北地方農林水産事務所林業県産材振興課 18年4月より、 むつ地域県民局地域農林水産部林業振興課	0175-22-8581	むつ市中央1-1-8	森林観察指導、森林林業体験活動での指導	
西北	あじがさわ白神山地ガイド倶楽部	0173-72-2111 (内153)	鱒ヶ沢町本町209-2	森林観察指導、森林林業活動での指導、企画、コーディネート	講師1人につき 7,000円～18,000円(コース、時間による)
	白神倶楽部	0173-77-2111 深浦町岩崎支所	深浦町岩崎字松原51-7 (事務局：西田秀一)	森林観察指導、森林林業体験活動での指導	講師1人につき 25,000円(白神岳登山のみ)
	岩崎自然ガイドクラブ	0173-77-3311 サンランド白神	深浦町松神字下浜松14 (事務局：吉田康治)	森林観察案内、森林林業体験活動での指導	講師1人につき 1,000円～25,000円(コース、時間による)
	青森県西北地方農林水産事務所林業県産材振興課 18年4月より、林業振興課	0173-72-6614	西津軽郡鱒ヶ沢町大字本町209	森林観察指導、森林林業体験活動での指導	

🎁 参考文献・ホームページ 🎁

- ・参考文献は、このガイドブックを作成するのに参考にした図書です。特に詳しい内容を表に示しています。
- ・ホームページは、森林環境教育に関連するものをいくつか紹介します。このほかにも「環境教育」、「自然体験」、「野外体験」などの語句で検索すれば、森林体験活動団体の活動事例やプログラム例などの情報が得られます。また、「危険な動植物」、「ハチ」などの語句で検索すれば、体験活動における安全管理面での情報が得られます。

🍷 参考文献

書名	企画・実施	安全管理	プログラム	活動実施例	森林・林業関係の知識
子どもが自然と遊ぶためのプログラム集キッズネイチャープログラム(CD) / 社団法人 日本環境教育フォーラム					
森へようこそ! キッズネイチャープログラム vol. 3 (CD) / 社団法人 日本環境教育フォーラム					
水辺であそぼうキッズネイチャープログラム vol. 2 (CD) / 社団法人 日本環境教育フォーラム					
小学校での「総合的な学習の時間」に役立つ 身近な自然から気づくきっかけプログラム集 / 社団法人 日本環境教育フォーラム					
中学校での「総合的な学習の時間」に役立つ 自然体験プログラム集 / 社団法人 日本環境教育フォーラム					
「総合的な学習の時間」に役立つ 川や海などの水辺でできる自然体験プログラム集 / 社団法人 日本環境教育フォーラム					
子どもと一緒に楽しむ自然体験アクティビティ集 / 社団法人 日本環境教育フォーラム					
体験セミナーシリーズ NO. 1 イラストガイド森の手入れ、森の遊び / 社団法人 全国林業改良普及協会					
体験セミナーシリーズ NO. 2 イラストガイド森を知る、森を楽しむ / 社団法人 全国林業改良普及協会					
体験セミナーシリーズ NO. 3 イラストガイドまちの森生活ソフト 林業入門 / 社団法人 全国林業改良普及協会					
森で学ぶ活動プログラム集 1 小学高学年の総合的な学習 / 社団法人 全国林業改良普及協会					
森で学ぶ活動プログラム集 2 小学中学年の総合的な学習 / 社団法人 全国林業改良普及協会					
森で学ぶ活動プログラム集 3 中学校の総合的な学習 / 社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーNO. 1 「森と水 水を育む森、森を育む水」 / 社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーNO. 2 「くらしと森林 災害を防ぎ、くらしを彩る」 / 社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーNO. 3 「地球と森林 温暖化を防ぐ森林・木材」 / 社団法人 全国林業改良普及協会					

書名	企画・実施	安全管理	プログラム	活動実施例	森林・林業関係の知識
森のセミナーN0.4「私たちの人工林 再生資源をつくろう、つかおう」/社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーN0.5「里山の雑木林 みんなで活かそう 暮らしの森」/社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーN0.6「暮らしと木材 環境共生のすまいづくり」/社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーN0.7「森のバイオマスエネルギー 地域資源で快適・おしゃれなあたたかさ」/社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーN0.8「森をゆたかにする間伐 歴史、生態から技術、経済まで」/社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーN0.9「森林・林業の仕事図鑑 森をつくる・人をつなぐ・木を活かす」/社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーN0.10「森と健康 自然がくれる心とからだの癒し」/社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーN0.11「森林と市民参加 みんなの知恵・情報・力が地域を創る」/社団法人 全国林業改良普及協会					
森のセミナーN0.12「森林と野生動物 共存をめざす新しいつきあい方」/社団法人 全国林業改良普及協会					
イラスト里山の手入れ図鑑/社団法人 全国林業改良普及協会					
森林のバイオマス利用アイデア集 /社団法人 全国林業改良普及協会					
インストラクターのための森林・林業教育実践ガイド /社団法人 全国林業改良普及協会					
森の本シリーズNo.1しらべてみよう森の探偵入門 /社団法人 全国林業改良普及協会					
森の本シリーズNo.2応援しよう林業体験入門 /社団法人 全国林業改良普及協会					
森の本シリーズNo.3森であそぼう雑木林探検入門 /社団法人 全国林業改良普及協会					
森の本シリーズNo.4つくってみよう木工・クラフト入門 /社団法人 全国林業改良普及協会					
イラスト林業道具図鑑/社団法人 全国林業改良普及協会					
ジュニア・フォーレスターズ/社団法人 全国林業改良普及協会					
森林づくりボランティア手帳/社団法人 全国林業改良普及協会					
森林インストラクター入門/社団法人 全国林業改良普及協会					
森の中の自然体験プログラム集/社団法人 国土緑化推進機構					
みどりの手帳/社団法人 国土緑化推進機構					

書名	企画・実施	安全管理	プログラム	活動実施例	森林・林業関係の知識
森林のはなし / 社団法人 国土緑化推進機構					
みどりのボランティアあぜん手帳 / 社団法人 国土緑化推進機構					
森の便利帳 / 社団法人 国土緑化推進機構					
みどりのたんけん手帳 / 社団法人 国土緑化推進機構					
みどりのおもしろ発見ノート / 社団法人 国土緑化推進機構					
みどりのおもしろ発見ノート指導マニュアル / 社団法人 国土緑化推進機構					
みんなの森～データ編 / 社団法人 国土緑化推進機構					
森林の探求ワークブック / 豊かな森林づくりのためのレディーズネットワーク・21					
もりのマナー / 社団法人 全国森林レクリエーション協会					
自然体験活動企画・運営ハンドブック / 財団法人 キープ協会					
森林の手入れ基礎知識 / 財団法人 日本緑化センター					
わたしたちの自然環境プロジェクト 21世紀の自然はわたしたちが守る / 株式会社 学習研究社					
木について調べ学習する本 子どもたちに贈る森からの手紙 / 日本木材青壮年団体連合会					
森で学ぶ森林環境教育プログラム作成の手引き / 北海道林業改良普及協会					
自然のこぼれを伝える～インタープリターのトレーニングのために～ / 静岡県環境森林部自然ふれあい室					
駿東・田方地区で考える森林環境教育プログラム集 / 静岡県環境森林部地球環境室					
伊豆の海から考える森林環境教育プログラム集 / 静岡県環境森林部地球環境室					
安倍川・巴川・興津川の流域で考える森林環境教育プログラム集 / 静岡県環境森林部地球環境室					
天竜美林の教え～天竜流域で行う森林を中心とした環境学習の手引き～ / 静岡県環境森林部地球環境室					
大井川の流域で考える森林環境教育プログラム集 / 静岡県環境森林部地球環境室					
富士地域森林環境教育プログラム / 静岡県環境森林部地球環境室					
センス・オブ・フォレスト / 高知県森林局森林政策課					
センス・オブ・フォレスト / 高知県森林局木の文化推進室					

書名	企画・実施	安全管理	プログラム	活動実施例	森林・林業関係の知識
森林体験学習等における安全管理手法に関する調査 / 林野庁					
森林を利用して行う体験学習プログラム(例) / 林野庁					
森林環境教育サービスパック(CD) / 岩手北部森林管理署					
自然観察の森ティーチャーズガイド・はじめの一步 / 環境省自然環境局自然ふれあい推進室					
身近な自然を活用した環境教育ティーチャーズガイド / 環境省自然保護局自然ふれあい推進室					



ホームページ

<p>子ども森林ひろば、森林へいこう、みんなの森データ編(社団法人 国土緑化推進機構) http://www.green.or.jp/kodomo/body.html、http://www.green.or.jp/moriheikou/index.html、 http://www.minnanomori.com 森の持つ働き、樹木の種類、木材の利用等総合的な学習などに役立つ情報や学校林などの情報が充実</p>
<p>社団法人 全国森林レクリエーション協会 http://www.shinrinreku.jp/top/index.html 森林インストラクターの養成講座、資格試験案内、子ども樹木博士の活動等の情報を提供</p>
<p>社団法人 全国林業改良普及協会 http://www.ringyou.or.jp/ 全国林業改良普及協会発行の森林環境教育関係図書等の情報を提供</p>
<p>全国森林組合連合会 http://www.zenmori.org/index.shtml 森林インストラクターの資格試験、施設の案内、里山情報を提供</p>
<p>財団法人 日本木材総合情報センター http://www.jawic.or.jp 針葉樹、広葉樹に分けた木材と利用の仕方、木のなんでも相談コーナー、木工体験について紹介</p>
<p>全国森林インストラクター会 http://www.shinrin-instructor.org/sub.htm 全国の森林インストラクターの情報を提供</p>
<p>社団法人 日本環境教育フォーラム http://www.jeef.or.jp/ 環境教育の普及、自然学校の普及、途上国の環境教育支援等の活動、イベント情報を提供</p>
<p>社団法人 日本ネイチャーゲーム協会 http://www.naturegame.or.jp/top/index.html ネイチャーゲームとは?、ネイチャーゲームリーダー要請研修、関連書籍などを紹介</p>
<p>林野庁、子ども森林館 http://www.rinya.maff.go.jp、http://www.rinya.maff.go.jp/kids/top.html 森林・林業行政一般についての情報、森に関する豆知識、「森の子クラブ」の案内</p>
<p>独立行政法人 森林総合研究所 http://www.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html 森林・林業・木材産業にかかわる研究機関。子ども樹木博士に挑戦しよう!についての情報などを提供</p>
<p>自然大好きクラブ(環境省) http://www.nats.jeef.or/main.html 自然が大好きな多くの人々に、自然とふれあう機会を広く提供している施設や団体の情報を提供</p>
<p>青い森からの贈り物~青森県の森林・林業~(青森県林政課) http://www.pref.aomori.jp/rinsei 県実施の森林環境教育のイベントや団体等を紹介</p>

おわりに

- ・みなさんが実践した体験活動の実施例や、新たに作成したプログラムやリメイクしたプログラムをぜひ下記発行先までお送りください。みなさんから頂いた情報は、林政課ホームページ上で、他の指導者へ提供したいと考えています。なお、プログラムの提供は、その取扱いを県に一任していただくことをご了解の上でお願いします。
- ・このガイドブックへの御意見をお送りください。みなさんからの御意見は、よりよいテキストの作成や県内の森林環境教育の一層の普及、向上に反映させて参ります。また、森林環境教育全般についての御意見や御提案などもお待ちしております。
- ・このガイドブックは、林政課ホームページでダウンロードすることができます。団体等でご活用いただくと幸いです。
- ・プログラム、御意見のあて先
FAX番号：017-734-8145
電子メール：rinsei@pref.aomori.lg.jp
郵送：〒030-8570 青森市長島一丁目1-1 青森県林政課企画グループまで

付 録

	体験活動設計シート・・・・・・・・・・	1
	ふりかえりシート・・・・・・・・・・	5
	主催者評価シート・・・・・・・・・・	6
	緊急時対応表・・・・・・・・・・	7
	オリジナルプログラム作成用シート・・・	8
	活動フィールド追加用シート・・・・・・・・	10
	指導者・団体追加用シート・・・・・・・・	11
	講師依頼時打合せチェックシート・・・・	12

[体験活動設計シート]

活動日（日にち、時間）

--

テーマ

--

活動のねらい

--

参加者について

項目	内容
年齢	
参加人数	
興味のある事柄	
体験活動の有無	
その他の情報	

体験活動スケジュール

	プログラム名	所要 時間	ねらい・役割
導入			
展開			
まとめ			

タイムスケジュール（晴天時）

プログラム名	スケジュール	所要時間

タイムスケジュール（雨天時）

プログラム名	スケジュール	所要時間

活動フィールド

プログラム名	フィールド

協力者への依頼

プログラム名	氏名（所属団体）	指導料

準備品

プログラム名	準備物品（数量）

最寄りの医療機関及び看護師

医療機関名	電話番号	備考
病院：		
病院：		
看護師：		

保険加入

保険会社名（取扱店）	担当者名	電話番号	備考

スタッフ役割分担・緊急時連絡先

プログラム名	役割	スタッフ名	電話番号	備考

[ふりかえりシート]

年 月 日実施

問1 今日の体験活動で印象に残ったことはなんですか。(自由に。絵を描いてもかまいません。)

問2 今回の体験活動は楽しかったですか。

あまり楽しくなかった - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - とても楽しかった

問3 楽しかったことはなんですか。

問4 楽しくなかったことはなんですか。どうすれば楽しくなると思いますか。

問5 参加したきっかけはなんですか。

問6 また参加するとしたらやってみたいことを書いてください。

問7 なんでも自由に書いてください。

問8 あなたは何年生ですか。 1・2・3・4・5・6 年生

問9 あなたが住んでいる市町村はどこですか。 _____ 市・町・村

ふりかえりシートとして使用する場合は、点線より上の項目(問1～3)を実施してください。
評価のためのアンケートとしても使用する場合は、点線より下の項目(問4～9)を適宜追加してください。

[主催者評価シート]

体験活動を実施して

ふりかえり日 年 月 日

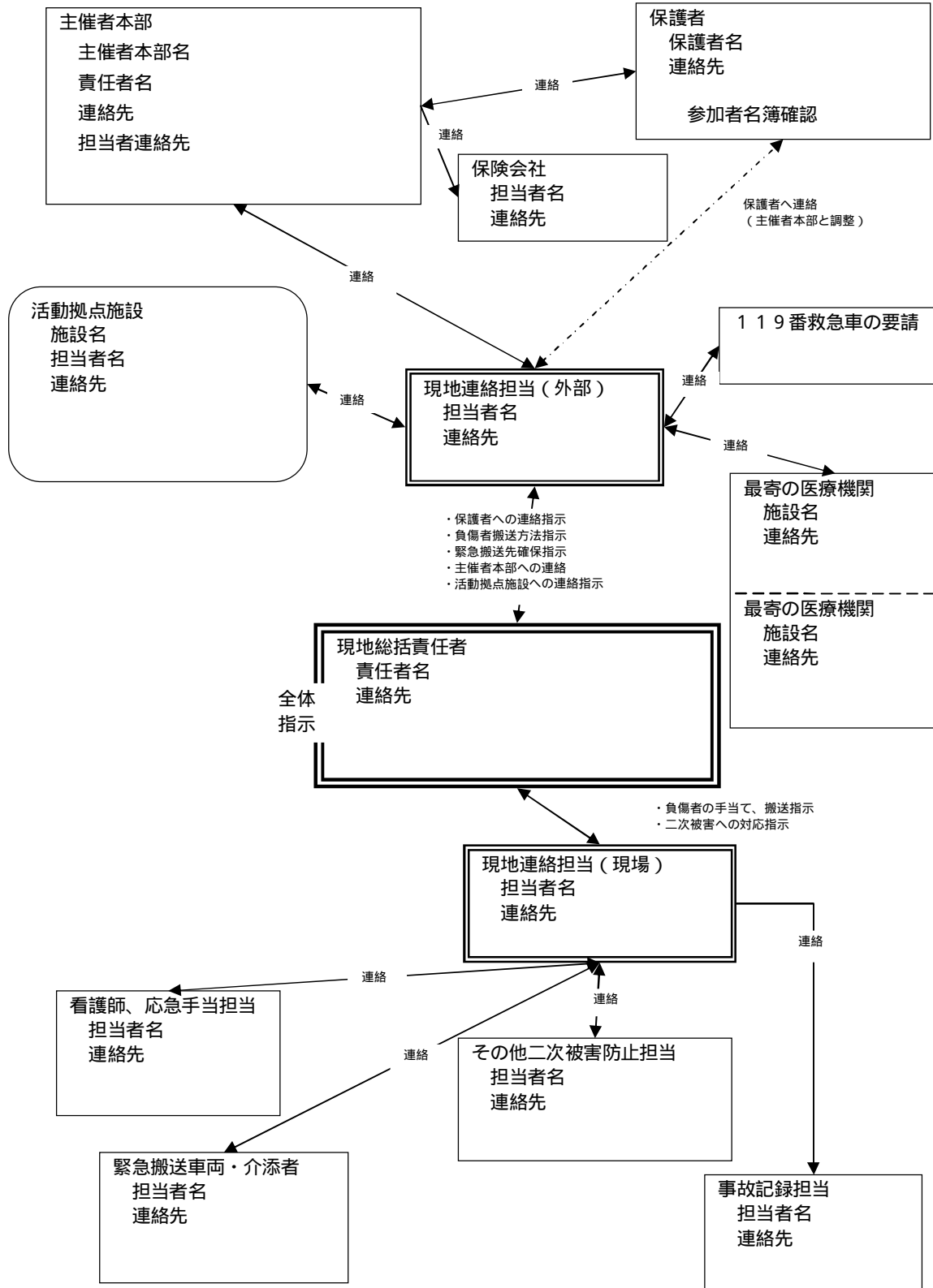
1 体験活動準備中に気になったことや気づいたこと、その改善策を記入。

2 体験活動実施中に気になったことや気づいたこと、その改善策を記入。

3 その他自由に記入。

[緊急時対応表]

体験活動名



[オリジナルプログラム作成用シート]

カテゴリー	
キーワード	
プログラム名	
ねらい	
実施時期	
実施場所	
活動可能学年	
必要な専門家・人数	
所要時間	
実施上の注意事項	
指導者準備品	
参考文献	

進め方
導入（ 分）

体験（ 分）

ふりかえり（ 分）

指導のポイント

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

[活動フィールド追加用シート]

名称	所在地	管理者	連絡先	施設 設備	交通 アクセス	周辺の 森林 状況	番号

[講師依頼時打合せチェックシート]

項目	設定者		チェック	メモ欄
	学校	講師		
実施日時・時間				
活動フィールド				
活動学年				
活動人数				
これまでの活動実績				
体験活動のねらい・内容				
フィールドまでの移動手段				
学校側スタッフの数				
追加指導者への依頼				
道具の準備(使用する道具、 学校側備品確認、購入物)				
経費(指導者、追加指導者、 体験活動利用物品)				
資料の作成・準備				
担当者名・連絡先				
次回の打合せ日				

設定者の両方に丸がついている箇所は話し合いをして設定してください。

メモ欄

森で遊ぼう、森で学ぼう！体験活動ファイル
- あおもり森林環境教育ガイドブック -

2006年3月発行

発行者 青森県農林水産部林政課
〒038-8570 青森市長島一丁目1-1
電話 017-734-9507
E-mail rinsei@pref.aomori.lg.jp
URL <http://www.pref.aomori.jp/rinsei/>

